



2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月7日

上場会社名 大同メタル工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7245 URL <https://www.daidometal.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 判治 誠吾

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画ユニット長 (氏名) 籠原 幸彦

TEL 052-205-1400

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	33,516	0.9	1,832	31.9	1,467	8.5	592	26.8
2025年3月期第1四半期	33,215	10.8	1,389	55.4	1,352	59.2	467	175.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 441百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 2,152百万円 (35.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	12.60	—
2025年3月期第1四半期	9.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	195,989	80,881	36.7
2025年3月期	196,656	82,095	37.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 71,838百万円 2025年3月期 72,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	7.00	—	11.00	18.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	1.7	8,000	12.8	7,000	2.6	3,500	28.7	74.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	47,520,253 株	2025年3月期	47,520,253 株
2026年3月期1Q	670,556 株	2025年3月期	374,456 株
2026年3月期1Q	47,024,103 株	2025年3月期1Q	47,131,014 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、取締役及び執行役員向けに、信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しております。当該信託に残存する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで本日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、全体としては緩やかな回復基調にあるものの、ウクライナ・中東情勢などの地政学的リスクを受け、不安定な状況が続いています。米国経済は設備投資が大幅に増え、個人消費も堅調に推移する一方、中国や欧州経済の低迷長期化や米国の関税による影響など、とりまく環境の厳しさが増しております。

わが国経済においては、緩やかな回復が見られ、設備投資についても底堅い需要に支えられておりますが、米国の関税、為替変動や物価上昇などの影響もあり、先行き不透明な状況で推移しています。

このような市場環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、フロンティア事業における売上高が減少となるも、ライフ事業やマリン・エネルギー事業の堅調な需要環境を受け、売上高は335億16百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

利益面につきましては、主にパワートレイン事業やライフ事業の継続的な原価改善活動、販売価格の調整による利益改善や、フロンティア事業の損失改善などで、営業利益は18億32百万円（同31.9%増）となりました。また、経常利益は14億67百万円（同8.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億92百万円（同26.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、セグメントの売上高に含めております。

また、当第1四半期連結会計期間より、事業戦略をより明確にするため、従来の「自動車用エンジン軸受」「非自動車用軸受」「自動車用エンジン以外軸受」「自動車用軸受以外部品」の4つのセグメント名称をそれぞれ「パワートレイン事業」「マリン・エネルギー事業」「ライフ事業」「フロンティア事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

① パワートレイン事業（旧 自動車用エンジン軸受）

日本国内の当第1四半期連結累計期間の新車販売台数は、前年同四半期に比べ、6.4%増加しました。海外は米国が前年同四半期比3.6%、中国が同11.2%増加、欧州は0.6%の微減となりました。

そのような状況下、当社グループの国内の売上高は前年同四半期比で8%増加したものの、海外は主に欧州のEV化による需要減少や為替の円高影響を受け同約8%減少したことから、当セグメントの売上高は前年同四半期比2.2%減収の175億53百万円、セグメント利益は同2.3%増益の23億37百万円となりました。

② マリン・エネルギー事業（旧 非自動車用軸受）

・大型船舶

2025年6月末の手持ち工事量は2,999万総トンと前年同四半期末と比べ0.85%の微減となりましたが、総じて需要が高止まりの状況となっており、ばら積み船、タンカー船を中心として、一時落ちていたコンテナ船の需要も増加しております。当社においては、組付、補用品の旺盛な需要や設備増強の効果も徐々に始まっており、売上高は前年同四半期に比べ増収となりました。

・中小型船舶/産業用発電機/建設機械他

船舶用補機やデータセンター向けをはじめとする産業用発電機などに使われる中高速エンジン用軸受の需要好調による受注増により、売上高は前年同四半期に比べ、増収となりました。

・電力エネルギー/産業用コンプレッサー他

水力発電のスポット案件やプラント向けのコンプレッサー用軸受補用品の増加により、売上高は前年同四半期に比べ、増収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比10.1%増収の45億71百万円、セグメント利益は同9.0%増益の9億28百万円となりました。

③ ライフ事業（旧 自動車用エンジン以外軸受）

日本では前年の車両認証不正影響の反動や値上げ、北米・中国では自動車部品用（ショックアブソーバーなど）軸受の堅調な需要、併せて北米では空調機器用のコンプレッサーに用いられる軸受の新規開拓による受注増があり、売上高は前年同四半期比9.1%増収の56億11百万円となりました。セグメント利益は主に日本の値上げ活動に伴う利益改善が大きく寄与し、同27.4%増益の8億57百万円となりました。

④ フロンティア事業（旧 自動車用軸受以外部品）

・アルミダイカスト製品

日本向け製品一部の生産終了に加えて、日本の電動車需要減少に伴う受注減により、売上高は前年同四半期に比べ減収となりました。セグメント損失については製造改善等に伴うエア費削減により損失の改善となったものの、生産終了製品に伴う退職者増加により生産ラインの見直しを余儀なくされ、生産性が一時的に低下しました。また突発的な一部設備故障に伴う修繕費用増もあり、計画予算を下回りました。突発事象は解消方向にあり、金型関連停止率、機械停止率などの更なる改善にむけた施策について計画的に進捗を図ってまいります。

・精密金属加工部品（曲げパイプ、ノックピン、NC切削品などの部品）

中国向け自動車の需要低調に伴う受注減により、売上高は前年同四半期に比べ減少となりました。セグメント利益については工程におけるボトルネックの解消など、生産能力の増強による納期改善に伴い、物流コスト（エア費用）の削減が図れたことで前年同四半期に比べ改善しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比4.4%減収の55億44百万円、セグメント損失は3億3百万円（前年同四半期はセグメント損失5億64百万円）となりました。

⑤ その他

ポンプ関連製品事業では新規開拓による受注増や設備用の潤滑装置の堅調な需要に支えられたものの、金属系無潤滑軸受では前年にあった発電所向けなどの大型スポット案件がなかったことにより、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業及び電気二重層キャパシタ用電極シート等の当セグメントの売上高は前年同四半期比8.0%減収の5億38百万円、セグメント利益は値上げ活動に伴う利益改善により、同28.4%増益の1億7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における総資産は1,959億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億67百万円減少いたしました。これは主に流動資産が減少したことによります。

流動資産は1,069億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億82百万円減少いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品、受取手形及び売掛金が増加した一方、商品及び製品が減少したことによります。

固定資産は890億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加いたしました。これは主に、無形固定資産が減少した一方、投資その他の資産が増加したことによります。

負債につきましては1,151億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億46百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金、賞与引当金が減少した一方、流動負債のその他、営業外電子記録債務、1年内返済予定の長期借入金が増加したことによります。

純資産は808億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億13百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が減少したことによります。

自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少し、36.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、25億60百万円の収入となりました。これは主に、その他の負債の増加による収入27億48百万円、減価償却費による収入23億74百万円、仕入債務の減少による支出15億66百万円、売上債権の増加による支出10億65百万円によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億95百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出19億55百万円によります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億79百万円の支出となりました。これは主に長期借入れによる収入32億円、長期借入金の返済による支出29億74百万円によります。

以上により、当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は256億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億89百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、2025年5月13日に公表した予想値に変更はありません。

前提為替レートは、1USドル/143円、1ユーロ/165円としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,147	28,875
受取手形及び売掛金	29,788	30,151
電子記録債権	2,993	3,080
商品及び製品	18,830	17,538
仕掛品	13,220	13,378
原材料及び貯蔵品	10,188	10,552
その他	3,562	3,484
貸倒引当金	△144	△156
流動資産合計	107,585	106,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,379	18,022
機械装置及び運搬具（純額）	21,344	21,615
その他（純額）	20,968	21,104
有形固定資産合計	60,692	60,742
無形固定資産		
のれん	3,450	3,274
その他	4,932	4,726
無形固定資産合計	8,383	8,001
投資その他の資産		
投資その他の資産	20,041	20,388
貸倒引当金	△46	△46
投資その他の資産合計	19,994	20,342
固定資産合計	89,070	89,086
資産合計	196,656	195,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,722	8,316
電子記録債務	12,059	12,398
短期借入金	28,194	28,263
1年内返済予定の長期借入金	5,348	5,872
未払法人税等	1,630	1,676
賞与引当金	1,934	902
役員賞与引当金	115	32
製品補償引当金	119	203
営業外電子記録債務	1,324	1,864
その他	8,643	11,467
流動負債合計	70,092	70,999
固定負債		
長期借入金	30,715	30,365
株式給付引当金	109	91
役員株式給付引当金	75	78
退職給付に係る負債	7,704	7,716
資産除去債務	17	17
その他	5,846	5,837
固定負債合計	44,468	44,108
負債合計	114,561	115,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,413	8,413
資本剰余金	13,114	13,114
利益剰余金	38,319	38,389
自己株式	△281	△465
株主資本合計	59,565	59,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,698	1,835
為替換算調整勘定	8,512	7,621
退職給付に係る調整累計額	2,973	2,929
その他の包括利益累計額合計	13,184	12,387
非支配株主持分	9,344	9,042
純資産合計	82,095	80,881
負債純資産合計	196,656	195,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	33,215	33,516
売上原価	25,289	25,111
売上総利益	7,926	8,405
販売費及び一般管理費	6,536	6,573
営業利益	1,389	1,832
営業外収益		
受取利息	80	94
受取配当金	79	95
為替差益	173	-
持分法による投資利益	43	20
その他	52	45
営業外収益合計	428	256
営業外費用		
支払利息	427	351
為替差損	-	237
その他	39	32
営業外費用合計	466	621
経常利益	1,352	1,467
税金等調整前四半期純利益	1,352	1,467
法人税、住民税及び事業税	673	994
法人税等調整額	34	△299
法人税等合計	707	694
四半期純利益	644	772
非支配株主に帰属する四半期純利益	177	179
親会社株主に帰属する四半期純利益	467	592

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	644	772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	142
為替換算調整勘定	1,415	△1,197
退職給付に係る調整額	△30	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	94	△111
その他の包括利益合計	1,507	△1,213
四半期包括利益	2,152	△441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,821	△204
非支配株主に係る四半期包括利益	330	△236

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,352	1,467
減価償却費	2,324	2,374
のれん償却額	199	201
持分法による投資損益(△は益)	△43	△20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	13
賞与引当金の増減額(△は減少)	△997	△1,031
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△89	△82
退職給付に係る資産負債の増減額	△132	△161
株式給付引当金の増減額(△は減少)	1	△17
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△4	3
受取利息及び受取配当金	△160	△190
支払利息	427	351
固定資産売却損益(△は益)	-	△2
売上債権の増減額(△は増加)	541	△1,065
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,043	170
仕入債務の増減額(△は減少)	△155	△1,566
未払消費税等の増減額(△は減少)	△86	84
固定資産除却損	-	25
その他の負債の増減額(△は減少)	2,191	2,748
その他	△363	109
小計	3,957	3,412
利息及び配当金の受取額	142	194
利息の支払額	△352	△259
法人税等の支払額	△1,075	△787
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,672	2,560

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△844	△238
定期預金の払戻による収入	836	881
投資有価証券の取得による支出	△14	△13
有形固定資産の取得による支出	△2,986	△1,955
有形固定資産の売却による収入	-	1
無形固定資産の取得による支出	△108	△154
貸付けによる支出	△119	△140
貸付金の回収による収入	161	128
その他	△12	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,089	△1,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△418	467
長期借入れによる収入	1,900	3,200
長期借入金の返済による支出	△2,505	△2,974
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△118	△158
自己株式の取得による支出	△6	△184
配当金の支払額	△593	△500
非支配株主への配当金の支払額	△347	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,089	△179
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61	△294
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,568	589
現金及び現金同等物の期首残高	24,586	25,019
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,018	25,608

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	パワー トレイン 事業	マリン・ エネルギー 事業	ライフ 事業	フロンティア 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,787	4,143	5,083	5,777	32,791	424	33,215
セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	6	59	23	243	161	405
計	17,941	4,150	5,142	5,800	33,035	585	33,620
セグメント利益 又は損失(△)	2,285	851	672	△564	3,245	83	3,328

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,245
「その他」の区分の利益	83
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△1,940
四半期連結損益計算書の営業利益	1,389

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

[当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	パワートレイン事業	マリン・エネルギー事業	ライフ事業	フロンティア事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,443	4,571	5,518	5,520	33,053	463	33,516
セグメント間の内部売上高又は振替高	110	—	92	24	226	75	302
計	17,553	4,571	5,611	5,544	33,280	538	33,819
セグメント利益又は損失(△)	2,337	928	857	△303	3,819	107	3,926

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,819
「その他」の区分の利益	107
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△2,100
四半期連結損益計算書の営業利益	1,832

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の「自動車用エンジン軸受」「非自動車用軸受」「自動車用エンジン以外軸受」「自動車用軸受以外部品」の4つのセグメント名称を「パワートレイン事業」「マリン・エネルギー事業」「ライフ事業」「フロンティア事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称で記載しております。